

## ● コラム

## 教えることと学ぶこと

*To teach is to learn twice*

大西浩二

Koji ONISHI

日立オートモティブシステムズ

Hitachi Automotive Systems

西洋のことわざに「教えることは二度学ぶことである」というのがあるらしい。

英語だと、表題にあげた文章になる。

シンプルに解釈すると、人に何かを教えるときは、自分が知っていることでもいくら準備をするものだから、結果としてもう一度勉強することになる、という意味だろう。それだけではなく、人に説明して正しく理解してもらうためには、自分自身がその内容を本当に理解していなくてはならない。予期しない質問を受けてすぐに答えられないときなど、相手とのやり取りの中で、自分の理解度を客観的な視点で確認することができる。

一方教わる側は、素直に耳を傾ける態度はもちろん大事だが、教えてもらったことをそのまま全部鵜呑みにするのは危険かもしれない。こちらからの質問に答えてくれず、いいからだまって聞いている、などと言われたら少し疑った方がよさそうだ。

私も教える立場と教わる立場の両方をずいぶん経験してきた。学校に通っているときや、社会人になった当初は教わる立場に立つことが多かったが、経験を積むにつれてしだいに人に教える機会が増えてくる。生半可な知識でずっと正しいと信じて教えてきたことが実はとんでもない間違いだったと気づいたときなどは、恥ずかしさと一緒に、これまで嘘を伝えてきた人全員のところに行って謝りたいという気持ちになったりする。考えるだけで実行はしないけれど。

教える側はできるだけ謙虚にオープンな姿勢で教えること、また教わる側もただ聞くだけでなく能動的に議論することで、教える、教わるという行為を、より価値のある経験に転換することができるのだろう。